



党県委員会が知事に緊急要請 豪雪対策の抜本的強化求め4項目

雪でお困りのことはありませんか。ありましたら、遠慮なくお知らせください。電話は私の携帯電話(090-5392-1961)にお願いします。上の写真は柿崎区黒岩で2月24日に撮影したものです。



25日午前9時現在、上越市では牧区棚広新田で474センチ、大島区菖蒲で416センチ、安塚区須川で410センチ、大島区田麦で403センチ、吉川区下川谷で349センチを記録しました。

県内では十日町市、津南町、長岡市などでも大変な積雪となっていますが、日本共産党新潟県委員会は各地住民が人力による除排雪で限界を超える事態となっていることから花角知事に対してこのほど、以下のような4項目の緊急申入れを行いました。ぜひ対応してもらいたいものです。

- 1 重機やダンプカーなどの除排雪機械を、全県・全国から被災地に集中し、緊急に配備してください。
- 2 マンパワーを緊急に確保するために、自衛隊の出動を要請してください。全県のマンパワーの集中をはか

つてください。

- 3 集落の面的な除排雪が求められています。災害救助の対象世帯を被本的に拡大してください。
- 4 今後の生活と生業をふまえ、車庫や農機具倉庫などの除排雪についても柔軟に対応してください。

市長も知事に緊急要請を

このことを踏まえて、日本共産党議員団(上野公悦団長)と日本共産党上越地区委員会(橋爪委員長)は、連名で市長に対して、市長としても県に対してしかるべき要請を行うよう文書で要請しました。

今後の対応については、3月議会の中でも質問していきます。

3月議会審議日程 (会議開始時間はいずれも10時)

月日(曜日)	会議	場所	備考
2月28日(金)	本会議	議場	提案説明、総括質疑
3月3日(月)	本会議	議場	総括質疑
3月4日(火)	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月5日(水)	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月6日(木)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月7日(金)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月10日(月)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月11日(火)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月12日(水)	総務委員会	第1委員会室	橋爪担当
3月13日(木)	総務委員会	第1委員会室	橋爪担当
3月17日(月)	一般質問	議場	
3月18日(火)	一般質問	議場	
3月19日(水)	一般質問	議場	
3月21日(金)	一般質問	議場	
3月24日(月)	一般質問	議場	橋爪登壇予定
3月25日(火)	本会議	議場	議案採決など

「消火栓を使用した消火活動は、常備消防や消防団が担う方針としており、過去の消防経験の有無にかかわらず、一般市民や自主防災組織等による消火活動は、重大な人身事故等が発生する危険性が高く、適当ではない。」
右は、吉川区地域協議会が1月、市長に提出した意見書への上越市の回答文書の一部です。隣の糸魚川市では認めているだけに、この回答には反発の声が高まっています。議会でも大いに議論します。

市、一般市民等による消火栓活用を認めず



【雪割草】(再掲) サクラソウ科の多年草。オオミスミソウとも呼んでいます。わが家の山にあったことから、亡き母が持参し、30数年前、わが家の庭に移植しました。今年は暖冬気味だったこともあり、2月3日には咲く一歩手前(写真)まで進みました。しかし翌日から雪、いまは雪の下です。花は白、ピンク、薄紫の3種。花言葉は、「忍耐」「期待」「信頼」など。



はしづめ法一の 活動レポート

No.2194 2025.3.2

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3627

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL https://www.hose1.jp/



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索



党県委員会が知事に緊急要請 豪雪対策の抜本的強化求め4項目

雪でお困りのことはありませんか。ありましたら、遠慮なくお知らせください。電話は私の携帯電話(090-5392-1961)にお願いします。上の写真は柿崎区黒岩で2月24日に撮影したものです。



25日午前9時現在、上越市では牧区棚広新田で474センチ、大島区菖蒲で416センチ、安塚区須川で410センチ、大島区田麦で403センチ、吉川区下川谷で349センチを記録しました。

県内では十日町市、津南町、長岡市などでも大変な積雪となっていますが、日本共産党新潟県委員会は各地住民が人力による除排雪で限界を超える事態となっていることから花角知事に対してこのほど、以下のような4項目の緊急申入れを行いました。ぜひ対応してもらいたいものです。

- 1 重機やダンプカーなどの除排雪機械を、全県・全国から被災地に集中し、緊急に配備してください。
- 2 マンパワーを緊急に確保するために、自衛隊の出動を要請してください。全県のマンパワーの集中をはか

つてください。

- 3 集落の面的な除排雪が求められています。災害救助の対象世帯を被本的に拡大してください。
- 4 今後の生活と生業をふまえ、車庫や農機具倉庫などの除排雪についても柔軟に対応してください。

市長も知事に緊急要請を

このことを踏まえて、日本共産党議員団(上野公悦団長)と日本共産党上越地区委員会(橋爪委員長)は、連名で市長に対して、市長としても県に対してしかるべき要請を行うよう文書で要請しました。

今後の対応については、3月議会の中でも質問していきます。



市、一般市民等による消火栓活用を認めず

【雪割草】(再掲) サクラソウ科の多年草。オオミスミソウとも呼んでいます。わが家の山にあったことから、亡き母が持参し、30数年前、わが家の庭に移植しました。今年は暖冬気味だったこともあり、2月3日には咲く一歩手前(写真)まで進みました。しかし翌日から雪、いまは雪の下です。花は白、ピンク、薄紫の3種。花言葉は、「忍耐」「期待」「信頼」など。

上越市はこのほど、「消火栓の在り方と有効活用について」と題する文書を吉川区地域協議会に出しました。これは、同協議会が1月15日に提出した意見書に対する回答です。1月に提出した意見書では、①十分な安全教育を行う事を条件に、火災発生時には消防車が到着するまでの間、一般市民または自主防災組織及び消防団OBに消火栓を使用し消火活動を行うことを認めていただきたい。②安全性を高めるため、使用するホースは糸魚川市と同様、一般市民が容易に操作できる40ミリ口径のホースを、筒先は無反動タイプを配備していただきたい。③当区においては、住宅密集地域に限らず、消防署から遠い地域があることを考慮していただきたい、と3点求めています。

これに対して今回の回答書では、「消火栓を使用した消火活動は、常備消防や消防団が担う方針としており、過去の消防経験の有無にかかわらず、一般市民や自主防災組織等による消火活動は、重大な人身事故等が発生する危険性が高く、適当ではない」「火災現場で40ミリ口径の消火ホースや無反動の管槍を使用した場合であつても、安全性の確保は困難なことから、一般市民等による消火活動のためにはこれらの資機材を配備する考えはありません」と答えました。事実上のゼロ回答です。2月20日に開催された吉川区地域協議会では、「こういった回答になると思っていた」「耳の痛い話だが、私としてはいたし方ないと思っ



はしづめ法一の活動レポート

No.2194 2025.3.2
 発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3627
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
 URL <https://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一 検索

春よ来い 第八四一回 つながりに支えられ

人間、誰しも住む環境や条件が変われば暮らしも意識も変わります。先日、市内在住の従妹(いとこ)と話して、そのことを感じました。

従妹は子どもが結婚してから長年にわたり、パートナーとの二人暮らしでした。そのパートナーが昨年亡くなり、一人暮らしになったのです。

居間に入らせてもらってすぐに、「一人というのは大変だ」という話になりました。居間には大きなイスが四つあり、テーブルの上には厚い木の板が置かれています。会話はここから始まりました。

「こんなに大きくて重い板、二人で動かすにも大変だよ」

「私、一人でやっているんだよ。少しずつ動かして……」

「百姓仕事だって、大きなシートを一人でたたむとき、広げて、端をそろけて、たいへんなんだよ。二人いれば、さっとたためるのにさ」

「そうだよね」

訪ねたとき、従妹はスーパーでの買い物から帰って来たばかりでした。一人暮らしになったのですから、買い物の量はそれに縮小しなければなりません。

「わかってはいるんだけど、どうしても必要量よりも多く買ってしまつちゃうのよ」

「しょうがないよ。これまでと加減がちがうし、一人暮らし一年生だもん」

「それにね、賞味期限がいつかをよく見ていないので、じきに賞味期限が切れるものも買ってしまつし。この間は大きな菓子袋を四つも買ってきちゃったの」

笑ってはいけないのですが、「大きなお菓子袋を四つも買ってきちゃった」という従妹の言葉について笑ってしまいました。

買い物の話では、思わぬ展開になりました。お店でいろんな人と出会うという話になって……。

「スーパーのレジをやっている人の中にFさんという人、いるでしょ」

「いるよ。その人の子どもさん、知っているんだわ」

「おれは吉川でその息子さんと出会い、息子さんを描いたことがあるんだ」

「そうだったの」

それから、川の流れが次々と進むように人との出会いの話が広がりました。

従妹はかつて地元の合唱団に入っていました。その活動から相当の期間離れていたのだと思いますが、最近、別の合唱グループに参加し始めたといいます。

「最近ね、山崎さんが指導してくださるグループに入ったの。吉川からもYさんなど何人が来てなるよ」

「そのグループなら知っているよ。Yさんと言えば、若い頃、テート中にトイレに駆け込んだとかで、火野正平の『こころ旅』に出ていた人だよ」

「そうそう旦那さんもいい人だったよね」

「おれね、二回ほどそのグループの合唱風景を描いたことがあるんだわ。ほら、見て。」

この人、知っているね」

「わかる、わかる。チュウさんだこてね。原之町のしさんも来てなるよ」

従妹はジムリーナも利用しているようです。目的はウォーキング、全長一八〇分のコースを歩いて健康づくりをしようというのです。灯油を買うにも歩いて運ばなければなりません。そのためにも体力をつけることが求められているでしょう。

おしゃべりを楽しむ際、従妹からはよく乾いたタクワン、イチジクと小豆入りのヨーグルトなどを出してもらいました。

この日、従妹とは数か月ぶりの再会でした。美味しいものをいただいただけでもありがたかったのですが、新しいつながりに支えられて元気に暮らす従妹の姿が何よりもうれしかった。

……。

大島、安塚区などで「灯の回廊」、第2ステージ

22日は「灯の回廊」の第2ステージ。浦川原、大島、安塚、高士、名立でいろいろな取組が展開されました。

午後4時過ぎに家を出て、浦川原、大島、安塚区の雪の状況と灯の回廊を見て回りました。浦川原区はまだ準備の真っ最中でした。イラスト一番上は虫川です。

大島区昔蒲では飯田邸に入り、ザルそばを食べてきました。この地区も高齢化が進んでいるのですが、30代、40代の人も手伝っていて、いいなあ、と思いました。

安塚区船倉のイベント広場では10人ほどの人たちが餅を焼いたり、漬け菜汁を作ったりして、もてなしの準備中でした。ほぼ同年代の人が多いため、話が合い、市政のことや、このイベントのこと、そして私の活動レポートのことも話題となりました。会場で少し待ってから、餅や漬け菜汁、ウドの煮物をご馳走になりました。美味しかったです。感謝です。



巣の上で座ったコウノトリのメスとオス (26日)

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月19日(水)	2月26日(水)
上越消防署	0.057	0.050
上越南消防署	0.050	0.047
新井消防署	0.047	0.053
頸北消防署	0.053	0.050
頸南消防署	0.067	0.067
東頸消防署	0.057	0.050
名立分遣所	0.057	0.057
高士分遣所	0.057	0.053

春よ来い 第八四一回 つなかりに支えられ

人間、誰しも住む環境や条件が変われば暮らしも意識も変わります。先日、市内在住の従妹(いとこ)と話して、そのことを感じました。

従妹は子どもが結婚してから長年にわたり、パートナーとの二人暮らしでした。そのパートナーが昨年亡くなり、一人暮らしになったのです。

居間に入らせてもらってすぐに、「一人というのは大変だ」という話になりました。居間には大きなイスが四つあり、テーブルの上には厚い木の板が置かれています。会話はここから始まりました。

「こんなに大きくて重い板、二人で動かすにも大変だよ」
 「私、一人でやっているんだよ。少しずつ動かして……」

「百姓仕事だって、大きなシートを一人でたたむとき、広げて、端をそろげて、たいへんなんだよ。二人いれば、さっとたためるのにさ」

「そうだよね」
 訪ねたとき、従妹はスーパーでの買い物から帰って来たばかりでした。一人暮らしになったのですから、買い物の量はそれに縮小しなければなりません。

「わかってはいるんだけど、どうしても必要量よりも多く買ってしまうのよ」
 「しょうがないよ。これまでと加減がちがうし、一人暮らし一年生だもん」

「それにね、賞味期限がいつかをよく見ていないので、じきに賞味期限が切れるものも買ってしまっし。この間は大きな菓子袋を四つも買ってきちゃったの」

笑ってはいけないのですが、「大きなお菓子袋を四つも買ってきちゃった」という従妹の言葉について笑ってしまいました。

買い物の話では、思わぬ展開になりました。お店でいろんな人と出会うという話になって……。

「スーパーのレジをやっている人の中にFさんという人、いるでしょ」

「いるよ。その人の子どもさん、知っているんだわ」

「おれは吉川でその息子さんと出会い、息子さんを描いたことがあるんだ」

「そうだったの」

それから、川の流れが次々と進むように人との出会いの話が広がりました。

従妹はかつて地元の合唱団に入っていました。その活動から相当の期間離れていたのだと思いますが、最近、別の合唱グループに参加し始めたといいます。

「最近ね、山崎さんが指導してくださるグループに入ったの。吉川からもYさんなど何人が来てなるよ」

「そのグループなら知っているよ。Yさんと言えば、若い頃、デート中にトイレに駆け込んだとかで、火野正平の『こころ旅』に出ていた人だよ」

「そうそう旦那さんもいい人だったよね」

「おれね、二回ほどそのグループの合唱風景を描いたことがあるんだわ。ほら、見て。この人、知っているかね」

「わかる、わかる。チュウさんだこてね。原之町のしさんも来てなるよ」

従妹はジムリーナも利用しているようです。目的はウォーキング、全長一八〇センチのコースを歩いて健康づくりをしようというのです。灯油を買うにも歩いて運ばなければなりません。そのためにも体力をつけることが求められているのでしょう。

おしゃべりを楽しむ際、従妹からはよく乾いたタクワン、イチジクと小豆入りのヨーグルトなどを出してもらいました。

この日、従妹とは数か月ぶりの再会でした。美味しいものをいただいただけでもありがたかったのですが、新しいつながりに支えられて元気に暮らす従妹の姿が何よりもうれしかった。



巣の上で座っているコウノトリのメスと立っているオスの夫婦。2月26日に吉川区にて撮影。

3月予算議会がはじまりました

3月議会審議日程 (会議開始時間はいずれも10時)

月日(曜日)	会議	場所	備考
2月28日(金)	本会議	議場	提案説明、総括質疑
3月3日(月)	本会議	議場	総括質疑
3月4日(火)	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月5日(水)	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月6日(木)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月7日(金)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月10日(月)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月11日(火)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
3月12日(水)	総務委員会	第1委員会室	橋爪担当
3月13日(木)	総務委員会	第1委員会室	橋爪担当
3月17日(月)	一般質問	議場	
3月18日(火)	一般質問	議場	
3月19日(水)	一般質問	議場	
3月21日(金)	一般質問	議場	
3月24日(月)	一般質問	議場	橋爪登壇予定
3月25日(火)	本会議	議場	議案採決など

3月予算議会が28日からスタートしました。会期は3月25日までです。
 私は初日に、総括質疑のトップバッターとして、原子力災害時の

「実効性の高い避難体制、上越市合併20周年事業の意義、上越地域医療センター病院の改築などについて質疑を行いました。詳しくは次号で報告します。」

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月19日(水)	2月26日(水)
上越消防署	0.057	0.050
上越南消防署	0.050	0.047
新井消防署	0.047	0.053
頸北消防署	0.053	0.050
頸南消防署	0.067	0.067
東頸消防署	0.057	0.050
名立分遣所	0.057	0.057
高士分遣所	0.057	0.053

春よ来い 第八四一回 つなかりに支えられ

人間、誰しも住む環境や条件が変われば暮らしも意識も変わります。先日、市内在住の従妹(いとこ)と話して、そのことを感じました。

従妹は子どもが結婚してから長年にわたり、パートナーとの二人暮らしでした。そのパートナーが昨年亡くなり、一人暮らしになったのです。

居間に入らせてもらってすぐに、「一人というのは大変だ」という話になりました。居間には大きなイスが四つあり、テーブルの上には厚い木の板が置かれています。会話はここから始まりました。

「こんなに大きくて重い板、二人で動かすにも大変だよ」
 「私、一人でやっているんだよ。少しずつ動かして……」
 「百姓仕事だって、大きなシートを一人でたたむとき、広げて、端をそろげて、たいへんなんだよ。二人いれば、さっとたためるのにさ」

「そうだよね」
 訪ねたとき、従妹はスーパーでの買い物から帰って来たばかりでした。一人暮らしになったのですから、買い物の量はそれに縮小しなければなりません。

「わかってはいるんだけど、どうしても必要量よりも多く買ってしまっているよ」
 「しょうがないよ。これまでと加減がちがうし、一人暮らし一年生だもん」

「それにね、賞味期限がいつかをよく見ていないので、じきに賞味期限が切れるものも買ってしまっているよ。この間は大きな菓子袋を四つも買ってきちゃったの」

笑ってはいけませんが、「大きなお菓子袋を四つも買ってきちゃった」という従妹の言葉について笑ってしまいました。

買い物の話では、思わぬ展開になりました。お店でいろんな人と出会うという話になって……。

「スーパーのレジをやっている人の中にFさんという人、いるでしょ」
 「いるよ。その人の子どもさん、知っているんだわ」
 「おれは吉川でその息子さんと出会い、息子さんを描いたことがあるんだ」
 「そうだったの」
 それからは、川の流れが次々と進むように人との出会いの話が広がりました。
 従妹はかつて地元の合唱団に入っていました。その活動から相当の期間離れていたのだと思いますが、最近、別の合唱グループに参加し始めたといいます。
 「最近ね、山崎さんが指導してくださるグループに入ったの。吉川からもYさんなど何人が来てなるよ」
 「そのグループなら知っているよ。Yさんと言えば、若い頃、テート中にトイレに駆け込んだとかで、火野正平の『こころ旅』に出ていた人だよ」
 「そうそう旦那さんもいい人だったよね」
 「おれね、二回ほどそのグループの合唱風景を描いたことがあるんだわ。ほら、見て。この人、知っているよね」
 「わかる、わかる。チュウさんだよね。原之町のしさんも来てなるよ」
 従妹はジムリーナも利用しているようです。目的はウォーキング、全長一八〇分のコースを歩いて健康づくりをしようというのです。灯油を買うにも歩いて運ばなければなりません。そのためにも体力をつけることが求められているのでしょう。
 おしゃべりを楽しむ際、従妹からはよく乾いたタクワン、イチジクと小豆入りのヨーグルトなどを出してもらいました。
 この日、従妹とは数か月ぶりの再会でした。美味しいものをいただいただけでもありがたかったのですが、新しいつながりに支えられて元気に暮らす従妹の姿が何よりもうれしかった。



巣の上で座ったコウノトリのメスとオス (26日)

大島、安塚区などで「灯の回廊」、第2ステージ

22日は「灯の回廊」の第2ステージ。浦川原、大島、安塚、高士、名立でいろいろな取組が展開されました。

午後4時過ぎに家を出て、浦川原、大島、安塚区の雪の状況と灯の回廊を見て回りました。浦川原区はまだ準備の真っ最中でした。イラスト一番上は虫川です。

大島区菅蒲では飯田邸に入り、まずは囲炉裏で温まりました。その後、ザルそばを食べてきました。かまくらを掘って、その中でビールを飲む人もいました。この地区も高齢化が進んでいるのですが、30代、40代の人でも手伝っていて、いいなあ、と思いました。

安塚区船倉のイベント広場では10人ほどの人たちが餅を焼いたり、漬け菜汁を作ったりして、もてなしの準備中でした。ほぼ同年代の人が多いため、話が合い、市政のことや、このイベントのこと、そして私の活動レポートのことも話題となりました。



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月19日(水)	2月26日(水)
上越消防署	0.057	0.050
上越南消防署	0.050	0.047
新井消防署	0.047	0.053
頸北消防署	0.053	0.050
頸南消防署	0.067	0.067
東頸消防署	0.057	0.050
名立分遣所	0.057	0.057
高士分遣所	0.057	0.053